

# GX-02 USB インタフェース 取扱説明書

株式会社 **AND** エーアンド・デイ

1WMPD4001411

## 1. 特長

- ・ 上皿電子天びん GX/GF シリーズとパソコンを USB で接続して、計量値をパソコンに送信することができます。対象 OS は、Windows 98 以降です。
- ・ Windows 標準のドライバを使用し計量値を送信できるので、複雑な専用ドライバのインストールが不要です。
- ・ パソコンは GX-02 をキーボードとして認識し、計量値はキーボード操作による数値入力と同様に処理されます。このため、Windows の Excel や Word、メモ帳など、どのアプリケーションにもデータを送信できます。

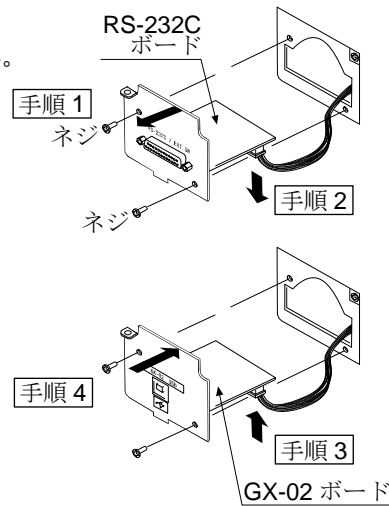
注意： ・ パソコンに送信できるデータは計量値のみとなります。ヘッダ、単位は送信されません。

- ・ 日付・時刻、ID ナンバ、データナンバ、GLP データは出力できません。
- ・ パソコンから天びんにコマンドを送ることはできません。コマンドにより天びんを制御したい場合は、RS-232C で接続するか、別売品の USB コンバータ (AX-USB-9P) をご使用ください。
- ・ パソコンのスクリーンセーバー、サスペンドモードはオフにしてください。
- ・ Windows、Excel、Word は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

## 2. 取付方法

注意： GX/GF 本体から AC アダプタを外した状態で、以下の作業を行ってください。

- 手順 1 背面のパネルのネジ (2 本) を外し、RS-232C ボードを引き出します。このとき、無理にケーブルを引っ張らないでください。
- 手順 2 RS-232C ボードからコネクタを外します。このとき、ケーブルではなく、必ずコネクタをもって外してください。
- 手順 3 GX-02 ボードにコネクタを差し込みます。
- 手順 4 GX-02 ボードを装着し、手順 1 で外した 2 本のネジで固定します。



## 3. 使用方法

- 手順 1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。次に、天びんに AC アダプタを接続し、天びん本体の電源を入れます。
- 手順 2 天びんの内部設定で、ボーレートを 2400bps (bP5 2)、ビット長、パリティを 7 ビット EVEN (b7Pr 0)、出力フォーマットを A&D 標準フォーマット (tYPE 0) にします。(出荷時設定と同じです。)
- 手順 3 付属の USB ケーブルで天びんとパソコンを接続します。

注意： USB ケーブルの接続は、天びんのデータ出力モードをストリームモード (Pr0 3) 以外の設定で行ってください。

- 手順 4 始めてパソコンと接続する場合、ドライバがインストールされます。詳細は「4. Windows 標準ドライバのインストール」をご覧ください。2 回目以降はこの手順は必要ありません。
  - 手順 5 計量データを送信するパソコンのアプリケーション (Excel など) を起動します。キーボードの入力モードを半角設定にします。計量データを送信したい位置にカーソルを合わせます。
  - 手順 6 天びんの **PRINT** キーを押すと、現在カーソルがある位置に計量データが送信されます。
- 注意： データメモリの内容を一括出力する場合は、データナンバは出力できません。(d-na 0 としてください) また、データ出力間隔を 1.6 秒空ける (PUSE 1) にしてください。

手順 7 終了する際は、そのまま USB ケーブルを抜きます。

## 4. Windows 標準ドライバのインストール

○Windows XP/Me/2000 の場合

接続するだけで自動でドライバがインストールされます。インストールが完了するまでお待ちください。

○Windows 98 の場合

手順 1 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。「次へ」を押します。

手順 2 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択して「次へ」を押します。

手順 3 すべてのチェックを外して「次へ」を押します。

手順 4 「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」が表示されていることを確認して「次へ」を押します。

手順 5 ドライバがインストールされます。インストールが完了すると右の画面が表示されます。「完了」ボタンを押します。

※ インストール中に Windows 98 の CD-ROM を入れるようにメッセージが出ることがあります。この場合、Windows 98 の CD-ROM を入れて、「OK」を押してください。

## 5. 使用例、応用例

○計量データの集計 1

天びんのデータ出力モード：キーモード (出荷時設定) **dout 0**

天びんの **PRINT** キーを押して、パソコンにデータを送信します。基本的な使い方です。

○計量データの集計 2

天びんのデータ出力モード：オートプリントモード **dout 1** または **dout 2**

天びんにサンプルを載せて、安定したときにパソコンにデータを送信します。

繰り返し物を載せて、その計量値を記録する場合に便利です。

